

報道関係者 各位

平成 26 年 3 月 18 日

【照会先】

医政局医事課試験免許室

試験専門官 青木 仁 (内線 2578)

国家試験係長 岩瀬 康裕 (内線 2574)

(代表電話) 03(5253)1111

第 107 回 歯科医師国家試験の合格発表について

平成 26 年 2 月 1 日 (土) 及び 2 日 (日) に東京都他 7 カ所において実施した第 107 回 歯科医師国家試験の合格者を発表しました。今回の当該国家試験の合格者数等は次のとおりです。

記

	(出願者数)	(受験者数)	(合格者数)	(合格率)
新卒者	2,656 人	2,241 人	1,642 人	73.3%
全体	3,644 人	3,200 人	2,025 人	63.3%

第107回歯科医師国家試験の合格基準

第107回歯科医師国家試験の合格基準は、

一般問題（必修問題を含む）を1問1点、臨床実地問題を1問3点とし、

- ① 領域A（総論） 67点以上／106点
- ② 領域B（各論Ⅰ～Ⅲ） 125点以上／185点
- ③ 領域C（各論Ⅳ～Ⅵ） 125点以上／205点
- ④ 必修問題 55点以上／68点

但し、必修問題の一部を採点から除外された受験者にあつては、
必修問題の得点について総点数の80%以上とする。

- ⑤ 必要最低点 0グループ以下
- ⑥ 禁忌肢問題選択数 2問以下

とする。

第107回歯科医師国家試験における採点除外等の取扱いをした問題について

A 問題 第 9 問

- 9 静脈血採取法で正しいのはどれか。1つ選べ。
- a 採血時には駆血帯を外す。
 - b 手袋の装着は不要である。
 - c 穿刺は消毒用アルコールが乾いてから行う。
 - d 血液の逆流が少ない場合は陰圧を強くかけて引く。
 - e 血管が出にくいときは穿刺部位を心臓より高くする。

(採点上の取り扱い)

正解した受験者については採点対象に含め、不正解の受験者については採点対象から除外する。

(理 由)

問題として適切であるが、必修問題としては妥当でないため。

第107回歯科医師国家試験における採点除外等の取扱いをした問題について

A 問題 第 11 問

11 人間を対象とした医学研究における「患者の自己決定権」を定めた最初の国際規範はどれか。1つ選べ。

- a リスボン宣言
- b ジュネーブ宣言
- c ヘルシンキ宣言
- d ヒポクラテスの誓い
- e ニュルンベルグ綱領

(採点上の取り扱い)

採点対象から除外する。

(理 由)

設問が不十分で正解が得られないため、採点対象から除外する。

第107回歯科医師国家試験における採点除外等の取扱いをした問題について

A 問題 第 21 問

21 エナメル質齲蝕で正しいのはどれか。1つ選べ。

- a 裂隙の形成
- b 漏斗状の拡大
- c 不透明層の存在
- d 齲蝕検知液での濃染
- e サイコロ状結晶への転化

(採点上の取り扱い)

正解した受験者については採点対象に含め、不正解の受験者については採点対象から除外する。

(理 由)

問題として適切であるが、必修問題としては妥当でないため。

第107回歯科医師国家試験における採点除外等の取扱いをした問題について

A 問題 第 37 問

37 母乳を介して感染するのはどれか。1つ選べ。

- a 風疹ウイルス
- b B型肝炎ウイルス
- c 単純ヘルペスウイルス
- d ヒトパピローマウイルス
- e ヒトT細胞白血病ウイルス

(採点上の取り扱い)

複数の選択肢を正解として採点する。

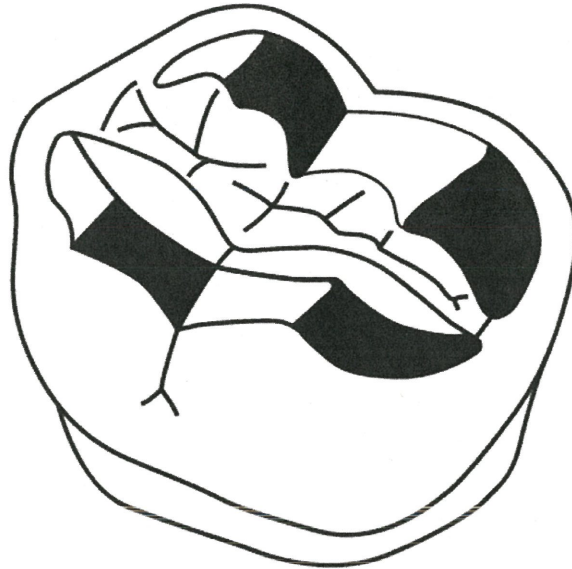
(理 由)

選択肢に複数の正解があるため、複数肢を正解とする。

第107回歯科医師国家試験における採点除外等の取扱いをした問題について

A 問題 第 99 問

99 下顎右側第一大臼歯人工歯の咬合小面の模式図を示す。



黒く塗られた咬合小面について正しいのはどれか。2つ選べ。

- a 中切歯、側切歯には存在しない。
- b 作業側側方咬合と後方咬合時の運動方向によって規定される面である。
- c 平衡側側方咬合と後方咬合時の運動方向によって規定される面である。
- d 作業側と平衡側の側方咬合時の運動方向によって規定される面である。
- e 矢状顆路傾斜角と矢状切歯路傾斜角によってその傾斜角が決定される。

(採点上の取り扱い)

採点対象から除外する。

(理 由)

問題として適切であるが、受験者レベルでは難しすぎるため採点対象から除外する。

第107回歯科医師国家試験における採点除外等の取扱いをした問題について

A 問題 第 115 問

115 全身麻酔に際して、気管チューブが気管内に挿入されているのを確認するのに最も確実な指標はどれか。1つ選べ。

- a 脈拍数
- b 気道内圧
- c 気管チューブのカフ圧
- d 経皮的動脈血酸素飽和度
- e 終末呼気二酸化炭素分圧

(採点上の取り扱い)

採点対象から除外する。

(理 由)

問題として適切であるが、受験者レベルでは難しすぎるため採点対象から除外する。

第107回歯科医師国家試験における採点除外等の取扱いをした問題について

B 問題 第 29 問

29 21歳の女性。上顎両側側切歯が小さいことを気にして来院した。オールセラミッククラウンで修復することとした。術前、フレーム試適時およびクラウン試適時の口腔内写真(別冊 No. 29)を別に示す。クラウン試適時のコンタクトゲージによる歯間離開度検査の結果を表に示す。

歯 種	4	3	2	1	1	2	3	4
歯間離開度 (μm)	50	110	110	110	110	50	50	

クラウン試適後の処置として適切なのはどれか。1つ選べ。

- a 仮 着
- b 合 着
- c 再印象
- d 陶材再築盛
- e 支台歯再形成

(採点上の取り扱い)

採点対象から除外する。

(理 由)

設問文が不十分であるため、採点対象から除外する。

第107回歯科医師国家試験における採点除外等の取扱いをした問題について

C 問題 第 3 問

- 3 殺菌を目的に歯磨剤に配合されるのはどれか。1つ選べ。
- a トラネキサム酸
 - b ポビドンヨード
 - c 乳酸アルミニウム
 - d 塩化ベンゼトニウム
 - e テトラサイクリン塩酸塩

(採点上の取り扱い)

正解した受験者については採点対象に含め、不正解の受験者については採点対象から除外する。

(理 由)

問題として適切であるが、必修問題としては妥当でないため。

第107回歯科医師国家試験における採点除外等の取扱いをした問題について

C 問題 第 7 問

7 ペニシリンの発見者はどれか。1つ選べ。

- a R. Koch
- b J. Lister
- c L. Pasteur
- d A. Fleming
- e I. P. Semmelweis

(採点上の取り扱い)

正解した受験者については採点対象に含め、不正解の受験者については採点対象から除外する。

(理 由)

問題として適切であるが、必修問題としては妥当でないため。

第107回歯科医師国家試験における採点除外等の取扱いをした問題について

C 問題 第 9 問

9 採取した血液を遠心分離した際、全容量に占める血球成分の割合を示すのはどれか。1つ選べ。

- a Hb
- b Ht
- c MCV
- d MCH
- e 赤 沈

(採点上の取り扱い)

正解した受験者については採点対象に含め、不正解の受験者については採点対象から除外する。

(理 由)

問題として適切であるが、必修問題としては妥当でないため。

第107回歯科医師国家試験における採点除外等の取扱いをした問題について

C 問題 第 10 問

10 高血圧症で最も頻度が高いのはどれか。1つ選べ。

- a 腎 性
- b 血管性
- c 神経性
- d 本態性
- e 内分泌性

(採点上の取り扱い)

正解した受験者については採点対象に含め、不正解の受験者については採点対象から除外する。

(理 由)

問題として適切であるが、必修問題としては妥当でないため。

第107回歯科医師国家試験における採点除外等の取扱いをした問題について

C 問題 第 25 問

25 MRI で大きく画像の歪みを生じるのはどれか。1つ選べ。

- a 非吸収性縫合糸
- b アクリルレジン床
- c コンポジットレジン修復
- d 金銀パラジウム合金インレー
- e ステンレススチール製ブラケット

(採点上の取り扱い)

正解した受験者については採点対象に含め、不正解の受験者については採点対象から除外する。

(理 由)

問題として適切であるが、必修問題としては妥当でないため。

第107回歯科医師国家試験における採点除外等の取扱いをした問題について

C 問題 第 32 問

32 管電圧 60～70 kV の口内法エックス線撮影装置における総ろ過で適切なのはどれか。1つ選べ。

- a 0.3 mmAl 当量
- b 0.6 mmAl 当量
- c 0.9 mmAl 当量
- d 1.2 mmAl 当量
- e 1.5 mmAl 当量

(採点上の取り扱い)

正解した受験者については採点対象に含め、不正解の受験者については採点対象から除外する。

(理 由)

問題として適切であるが、必修問題としては妥当でないため。

第107回歯科医師国家試験における採点除外等の取扱いをした問題について

C 問題 第 34 問

- 34 歯科用器具類の感染管理でクリティカルに分類されるのはどれか。1つ選べ。
- a スケーラー
 - b 印象用トレー
 - c フェイスボウ
 - d デンタルミラー
 - e 歯科用ハンドピース

(採点上の取り扱い)

採点対象から除外する。

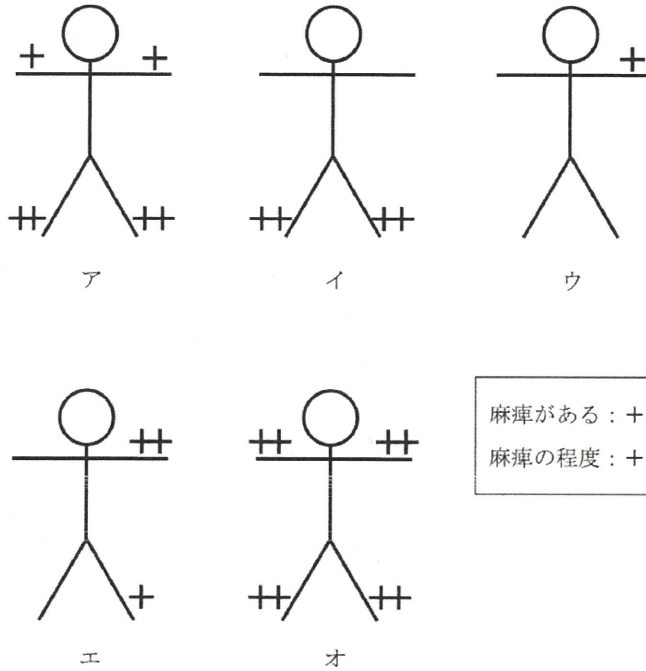
(理 由)

選択肢に不適切があるため、採点対象から除外する。

第107回歯科医師国家試験における採点除外等の取扱いをした問題について

C 問題 第 41 問

41 麻痺を有する人体の模式図を示す。



両麻痺はどれか。1つ選べ。

- a ア
- b イ
- c ウ
- d エ
- e オ

(採点上の取り扱い)

採点対象から除外する。

(理 由)

問題として適切であるが、受験者レベルでは難しすぎるため採点対象から除外する。

第107回歯科医師国家試験における採点除外等の取扱いをした問題について

C 問題 第 44 問

44 研究を行ったサンプルにおいて、2群間の差を統計的に検定した結果と母集団における真理との関係を表に示す。

サンプル集団における 研究の結果	母集団における真理	
	差あり	差なし
帰無仮説を棄却	ア	イ
帰無仮説を棄却せず	ウ	エ

第1種の過誤はどれか。1つ選べ。

- a ア
- b イ
- c ウ
- d アとエ
- e イとウ

(採点上の取り扱い)

採点対象から除外する。

(理 由)

問題として適切であるが、受験者レベルでは難しすぎるため採点対象から除外する。

第107回歯科医師国家試験における採点除外等の取扱いをした問題について

C 問題 第 60 問

60 スプレー式フッ化物局所応用法のフッ素濃度(ppm)はどれか。1つ選べ。

- a 100
- b 500
- c 1,000
- d 3,000
- e 9,000

(採点上の取り扱い)

採点対象から除外する。

(理 由)

問題として適切であるが、受験者レベルでは難しすぎるため採点対象から除外する。

第107回歯科医師国家試験における採点除外等の取扱いをした問題について

C 問題 第 77 問

77 空気感染によって広がるのはどれか。2つ選べ。

- a 結核
- b 風疹
- c 麻疹
- d 流行性耳下腺炎
- e インフルエンザ

(採点上の取り扱い)

採点対象から除外する。

(理 由)

設問文が不明瞭であるため、採点対象から除外する。

歯科医師国家試験 合格者数等の推移

回数	施行年月日	受験者数(人)	合格者数(人)	合格率(%)
第98回	平成17年3月16～17日	3,343 (2,583)	2,493 (2,106)	74.6 (81.5)
第99回	平成18年2月11～12日	3,308 (2,487)	2,673 (2,188)	80.8 (88.0)
第100回	平成19年2月10～11日	3,200 (2,580)	2,375 (2,087)	74.2 (80.9)
第101回	平成20年2月9～10日	3,295 (2,487)	2,269 (1,948)	68.9 (78.3)
第102回	平成21年2月7～8日	3,531 (2,516)	2,383 (1,915)	67.5 (76.1)
第103回	平成22年2月6～7日	3,465 (2,355)	2,408 (1,921)	69.5 (81.6)
第104回	平成23年2月5～6日	3,378 (2,356)	2,400 (1,928)	71.0 (81.8)
第105回	平成24年2月4～5日	3,326 (2,311)	2,364 (1,882)	71.1 (81.4)
第106回	平成25年2月2～3日	3,321 (2,373)	2,366 (1,907)	71.2 (80.4)
第107回	平成26年2月1～2日	3,200 (2,241)	2,025 (1,642)	63.3 (73.3)

※()内は新卒者を示す

歯科医師国家試験 男女別合格者等の推移

回数	受験者数(人) 男女比(%)	合格者数(人) 男女比(%)	総数	男女別合格者数		男女別合格率(%)	
				男性	女性	男性	女性
第103回 (平成22年)	受験者数(人)	3,465	2,199 (63.5)	1,266 (36.5)	67.1	73.7	
	合格者数(人)	2,408	1,475 (61.3)	933 (38.7)			
第104回 (平成23年)	受験者数(人)	3,378	2,144 (63.5)	1,234 (36.5)	68.5	75.4	
	合格者数(人)	2,400	1,469 (61.2)	931 (38.8)			
第105回 (平成24年)	受験者数(人)	3,326	2,056 (61.8)	1,270 (38.2)	68.3	75.6	
	合格者数(人)	2,364	1,404 (59.4)	960 (40.6)			
第106回 (平成25年)	受験者数(人)	3,321	2,035 (61.3)	1,286 (38.7)	68.3	75.9	
	合格者数(人)	2,366	1,390 (58.7)	976 (41.3)			
第107回 (平成26年)	受験者数(人)	3,200	1,998 (62.4)	1,202 (37.6)	59.8	69.1	
	合格者数(人)	2,025	1,194 (59.0)	831 (41.0)			

第107回歯科医師国家試験 卒業年次別受験者数・合格者数・合格率

卒業年次	受験可能回数	受験者数(人)	構成比(%)		合格者数(人)	合格率(%)
			受験者数(人)	合格者数(人)		
新卒 平成25年4月～平成26年3月	1回	2,241	70.0	1,642	73.3	
既卒 平成24年4月～平成17年3月以前	2回	503	15.7	285	56.7	
	3回	131	4.1	57	43.5	
	4回	78	2.4	21	26.9	
	5回	40	1.3	3	7.5	
	6回	70	2.2	8	11.4	
	7回	39	1.2	8	20.5	
	8回	28	0.9	1	3.6	
	9回	14	0.4	0	0.0	
	10回以上	56	1.8	0	0.0	
	計		959	30.0	383	39.9
総計		3,200	100.0	2,025	63.3	